

2022年12月7日(水)第一水曜祈祷会

ヨハネの黙示録13:1～18

「二匹の獣」

【11～12章の概略】 *第二の禍が過ぎ去った。見よ、第三の災いがすぐに来る。(11:14)

- ①「四十二か月」「千二百六十日」「一時と二時と半時」(7年の艱難時代の後半(3年半)について)
*1世紀末(過去主義的解釈)、現在主義的解釈、未来主義的解釈という3つの解釈がある
- ②「聖なる都」は異邦人によって踏みにじられ、「大きな都」で二人の証人が預言、殉教、復活。
- ③第七の御使いがラッパを吹く。→天における宣言、長老たちの礼拝、神殿と契約の箱。
- ④「一人の女」()、「赤い大きな竜」()、「女の子孫」()を指す。
- ⑤天上での戦いでサタンは地に投げ落とされ、激しく憤り、キリスト者を滅ぼそうと追跡する。

【13章の観察と黙想】 *暗黒の象徴…竜(12章)、獣、偽預言者(13章)、大バビロン(17-18章)。

1. 海からの獣(13章1—10節)

- ①海からの獣は、何を象徴していますか。政治的権力
→
- ②海からの獣が大言壮語して冒涇のことはを語る期間はどのくらいですか。
→
- ③海からの獣が神を冒涇するのを見て、地に住む者たちはどうしましたか。
→
- ④患難時代にあつて神の民に必要なものは何ですか(13:9-10)
→

2. 地からの別の獣(13章11—18)

- ①地からの獣は、何を象徴していますか。
→
- ②地からの獣は、どんなことをしましたか。
→
- ③地からの獣は、獣の民であることをどうやって明確にしましたか。
→
- ④患難時代にあつて神の民に何が必要ですか(13:18)。
→

【適用と分かち合い】

- ①「二人の証人」と「二匹の獣」は、それぞれ何をしましたか。
- ②獣を礼拝する者の報い(14:9-11)、神を礼拝する者の報い(11:18)は何ですか。
- ③「子羊」「十四万四千人の人たち」とは、それぞれ何を象徴していますか(14:1)
- ④聖書は「患難(時代)」について、私たちに何を告げていますか。